

令和3年度 小林市立南小学校 自己評価書

NO. 2

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。 令和3年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』
--------------	--

〈徳 育〉 ○ よい行いを実行する力と思いやり

評価 項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
徳 育	1 よりよい学校づくりのための主体的な活動	◎ 環境美化活動の充実（清掃、整理整頓、花植等） ○ 係、委員会、ボランティア活動の充実	○ 清掃形態を学級別清掃から縦割り清掃に変更するようにし、高学年がリーダーシップをもって活動できるようにする。無言清掃については適宜その場指導や放送等で呼びかける。 ○ フラワーボランティアを立ち上げ、地域と連携し、学校環境の整備の推進を図る。 ○ 学級活動での係活動の活性化や各委員会による取組、朝のボランティア活動等により主体性をもたせた活動の推進を図る。	2. 82	2. 87	・清掃指導では、縦割り清掃により高学年としての意識が高まった。無言清掃は大体できているが、移動が騒がしい。清掃範囲を確認して配当人数等を検討していく必要がある。 ・地域との連携を継続しながら今後も学校環境を整備していく。 ・委員会活動評価欄に学校スローガンの項目を設定することで、意識が高まった。
	2 基本的生活習慣の重点的育成	◎ 「返事・あいさつ・整理整頓」の徹底指導	○ 各学級において「みなみっ子の一日」を使って学校のきまりを確認する。 ○ 返事・あいさつ・整理整頓について常時指導を行うとともに、全校が集まる場において達成度を確認する。	2. 52		・きまりを確認する時間を確保し、共通理解共通実践を行うことができた。 ・全体の場合での指導を適宜行ったが、徹底できないところがあった。
	3 問題行動、いじめ、不登校への対応	○ 問題行動への即時対応 ○ 児童の人間関係の継続的見守り ○ 不登校傾向児童に寄り添う対応	○ 毎月アンケートを実施し、実態の把握、教育相談を行うことを通して、問題行動の早期発見、早期解決に努め、「いじめ不登校対策会議」を開催し、全職員で共通理解を図る。 ○ Q-Uテストの実施を通して、学級の実態を把握し、望ましい学級集団の形成に努める。 ○ 連絡のない欠席児童への確実な連絡体制をとる。	3. 17		・毎月実施することで、共通理解を図ることができた。 ・夏季休業中に分析を行い、望ましい学級集団の形成に向けて改善を図った。 ・連絡のない登校児童へは学級担任、管理職で連携し、確認を行った。
	4 道徳教育・人権教育の充実	○ 望ましい人間関係と言語環境づくり ○ 道徳科学習の充実	○ 「西諸人権の日」に合わせ、7月の参観日では人権に関する学習の授業参観を実施した。12月には人権週間を設定し、人権教室や人権研修を実施する。	3. 00		・人権教育は計画通り実施することができた。 ・人権学習に関して保護者から肯定的な感想が多くあり、意識の高まりが見られた。

